Good Neighbors Japan

Good Change for the World

グッドネーバーズ・ジャパン 年次報告書

2020

2020.1 - 2020.12

ごあいさつ

皆様の日頃からのご支援・ご協力にあらためて感謝を申し上げます。
今年も、グッドネーバーズ・ジャパンの昨年の活動をまとめた「年次報告書」を皆様にお届けいたします。

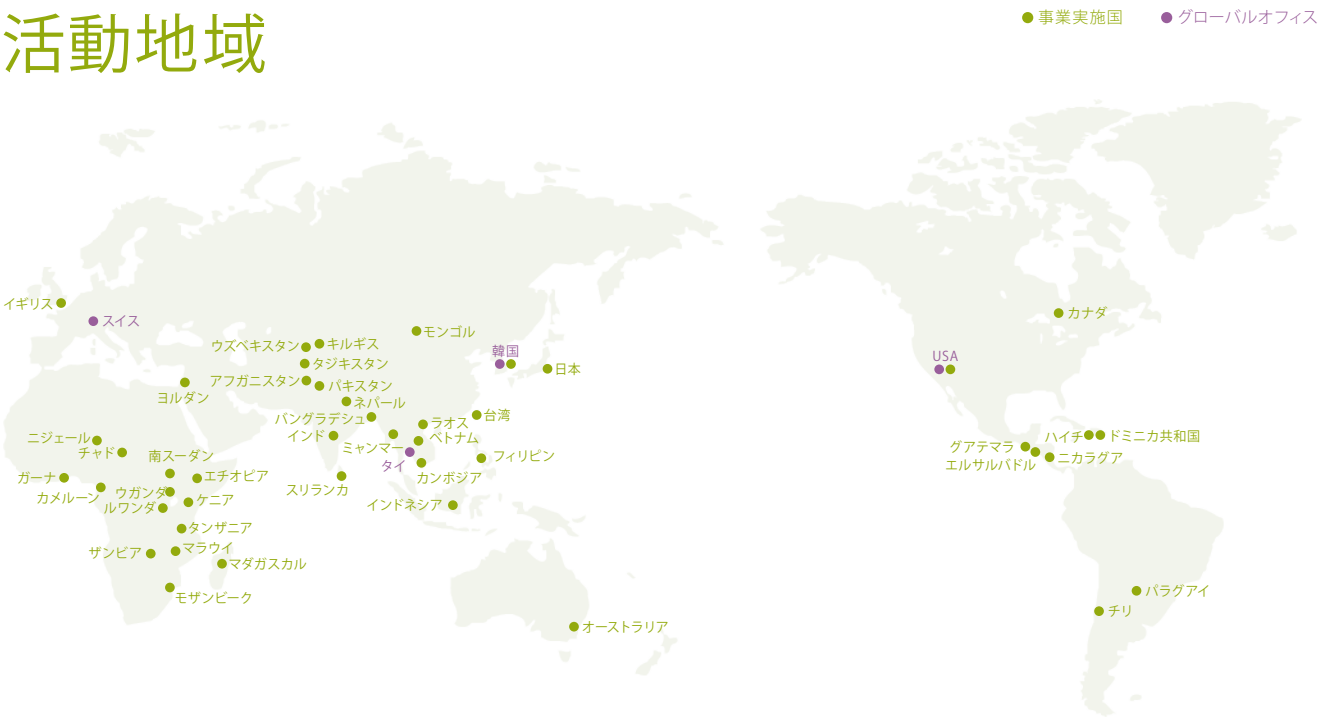
国際NGOグッドネーバーズ・インターナショナルは昨年、新型コロナウイルスによる制約を受けながらも全世界で400万人以上の子ども達、教師、そして地域住民を対象に教育や医療、収入向上支援など様々なプログラムを実施しました。
2020年、グッドネーバーズ・ジャパンはその日本法人として、国内NGOのなかでもいち早く2月初旬に新型コロナウイルス感染拡大防止緊急支援を開始し、中国の武漢市および周辺地域の病院に医療用ガウン76,000着を届けました。
国内では、コロナ禍での失業や収入減、生活苦などにより助けを求めるひとり親家庭が後を絶たず、ひとり親世帯を対象としたフードバンク「グッドごはん」の利用登録者は、前年比で7倍にもなりました。私たちは関西地方の需要に応えるため大阪でも「グッドごはん」を開始し、急増したニーズに対応すべく東京でも倉庫を借り食品配付拠点の拡大に努めました。その際には多くの支援者様が追加のご寄付で支えてくださいました。改めてお礼を申し上げます。

今世界では、新型コロナウイルス感染拡大による失業、貧困の増加、長期間学校閉鎖が続いている影響で、学業から離れた子どもたちが児童婚や児童労働のリスクにさらされています。そして、コロナ禍だからといって、世界の紛争や自然災害は待ってはくれません。現在もエチオピアの国内紛争により、約35万人が命の脅かされる飢餓状況にあるとされ、グッドネーバーズ・ジャパンも支援を行っています。
私たちには、子どもたちを守るための早急な対応と一層の努力が求められています。引き続き、支援を必要とする国内外の子どもたちのために、私たちと共に子どもたちのこころと身体の成長を見守っていただけますようお願いいたします。

福井 玲

グッドネーバーズ・ジャパン代表理事
東京大学教授

活動地域



活動分野

支援する
子どもと家族

教育・子どもの保護
水・衛生
医療・保健
収入向上
地域パートナーシップ
&ネットワーク構築
アドボカシー
緊急支援
ボランティア

2020年の成果

海外

45カ国で、20万人以上の子ども達を支援しています。

地域開発プロジェクト
4,132,705人

教育支援
1,061,929人

保健医療支援
1,914,547人

水・衛生支援
596,723人

収入向上支援
76,596人

アドボカシー
576,162人

緊急支援
1,121,598人

国内

支援世帯数（グッドごはん）
延べ4,547世帯

支援した子ども
7,862人

海外事業

教育

タブレットで学ぶ子どもたち

2020年の成果

学校設備
629,679人

学費・学用品
296,187人

教職関係者研修
6,917人

教育の権利促進
56,819人

ホープスクール
72,327人

パラグアイ

テレビ教育番組で教育を受ける権利を守る

パラグアイの学校は二部制で、授業時間は1日4時間しかなく、世界で一番教育時間の短い国といわれています。公用語はスペイン語とグアラニー語ですが、両方の言語を使いこなせる子どもは2割程度にとどまると推測され、教育時間や質の高いテキストの不足、地域格差が課題となっています。さらに2020年には、新型コロナウイルス感染症対策による休校で教育の機会がさらに制限されました。そこでグッドネーバーズはパラグアイの教育科学省と連携し、小学生対象の言語教育を行うTV教育番組「グッドキッズ」を制作して国営放送局を通じて放送し、学習テキストも配布しました。これにより休校で学校に行くことができなかった子どもたちは、自宅のテレビで放送を見ながら読み書き能力や語学力を磨き、家庭でも学習を継続できるようになりました。

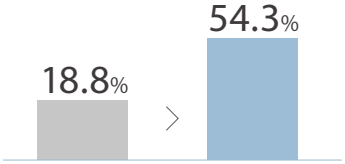
「グッドキッズ」事業の成果

教育コンテンツ（グッドキッズ）製作
103編

教育活動や教材の配布
3,084人

「グッドキッズ」の視聴率
2.8%

Paraguay TV（国営放送）- 毎週月〜金 30分
Paravision（民放）- 毎週土曜日 2時間



子どもの識字率

コロナで学校に行けず残念で退屈していましたが、TVのキャラクターと一緒に歌いながら新しい言葉を学ぶのは楽しく、テキストで家でも勉強を続けることができて良かったです!

ミチカ ミルラグロス / グッドキッズで学んだ子ども

コロナ禍でも学び続ける

ニカラグア

読書で世界が広がる体験を

ヒノテペ教育支援事業の成果

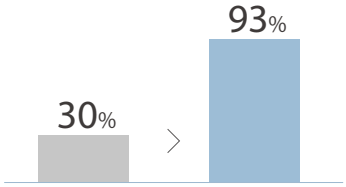
読書タブレットPCの提供
200台

教育省の試験に合格した生徒
579人

生徒の読解力が向上しただけではなく、様々なジャンルの本を置いてもらえたおかげで、興味の分野がより広がりました。生徒が本を介して、より広い世界を見て、様々な夢を育てていくことができればこんなに嬉しいことはありません。

アルバオベンド / カルロスホセ・サリナス学校校長

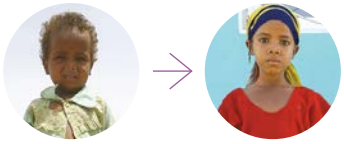
ニカラグアのヒノテペ市の学校では、教科書をはじめとした教材が不足しており、複数の生徒たちがひとつの教科書をシェアして授業を受けることが常態化していました。また、多くの生徒たちは、学年にふさわしい読み書き能力を習得できておらず、授業についていくのに困難を抱えていました。
グッドネーバーズは、このような教育環境を改善して生徒たちの識字能力を向上させようと、ヒノテペ市の3つの学校に読書コーナーを設置し、本と電子書籍を閲覧できるタブレットPCを提供しました。また、読書サークルを運営し、読書フェスティバルを開催することで、生徒たちがより多くの言葉を知り、自由に自分の考えを書いて話すことができるように支援しました。



生徒の識字試験合格率

読書で識字率の向上をめざす

グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート①



身長：88cm　116cm
体重：11kg　17kg

アシェちゃん　10歳　チャド

アシェちゃんはチャドのファシャアテレ地域で両親、兄2人、姉2人、妹1人と一緒に暮らしています。昨年度は進級するためにはもう少し勉強が必要と判断されたため、もう一度ヨナスクールの2年生としてがんばっています。
一番好きな教科は算数で、好きな動物はニワトリ、好きな色は緑色です。父親が農業で生計を支えていますが、生活は楽ではありません。
グッドネーバーズは、アシェちゃんの通っているヨナスクールの運営の他、大人を対象とした識字教育プログラムや収入向上プログラム、ヘルスセンターの運営などを行っています。

※チャドの教育制度　初等教育（5年制）、中等教育（7年制）

身長：128cm　163cm
体重：22kg　54kg

カルシクくん　18歳　インド

カルシクくんは、父親が既に他界していて、現在インドのチクジャラ地域で母親、兄弟1人、姉妹1人と一緒に暮らしています。好きな科目は社会です。
カルシクくんは2019年に高校を卒業し、ドライバーとして働きながら家族を支えています。2020年4月に18歳の誕生日を迎え、仕事で収入も得られるようになってきたことから、12月にグッドネーバーズの支援を卒業しました。
「今の僕があるのは学校生活のおかげです。本当に感謝しています」と話してくれました。

※インド・チクジャラの教育制度　初等教育（4年）、中等教育（6年）、高等教育（2 ～ 5年）

医療・保健

聴診器を当てる医師と親子

2020年の成果

保健医療設備支援
229件

母子保健サービスの質向上
139,498人

病気の予防と健康管理
1,472,014人

栄養の支援と管理
294,180人

地域保健員、村の保健委員会支援
8,855人

ネパール / バングラデシュ

女の子の健康を守る女性保健事業

月経を否定的に捉える慣習の環境で育っている女の子は、性や生理について適切な教育を受けられず、月経期間を不衛生な環境で過ごさざるをえなかったり、適切な処置ができないため学校を欠席するなどの困難を抱えています。
グッドネーバーズは、女の子の正しい性知識と健康のために、ネパールとバングラデシュでの月経衛生管理事業を通じて女子トイレを建設し、生理用品や下着などを支援しています。同時に、女の子と地域住民を対象にリプロダクティブ・ヘルス（性と生殖に関する健康）教育やキャンペーンを行い、女性の身体に配慮した環境作りや、正しい性の知識について啓発しました。

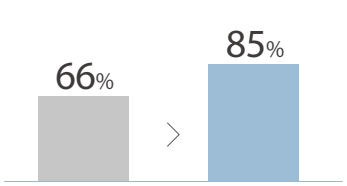
月経衛生管理事業の成果

女子トイレ設置支援

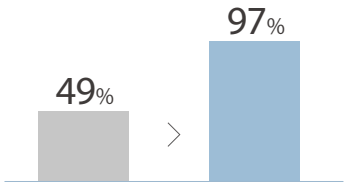
ネパール
14施設
バングラデシュ
12施設

リプロダクティブ・ヘルス教育とキャンペーン参加者

女の子
2,560人
地域住民
5,553人



月経期間中の女子生徒の出席率



女子トイレを設置している学校の割合

月経に関する正しい知識を学ぶ女の子たち

生理をはじめ自分の体の変化が女性として非常に重要であることを学びました。
何よりも友達と一緒にあげた声で周りの認識が変わっていて、胸がいっぱいで女性として誇りを感じています！

イエスミン・ビパシャ / バングラデシュのキャンペーンに参加した生徒

水・衛生

綺麗な水に喜ぶ子どもたち

2020年の成果

飲料水・衛生施設支援	衛生教育・研修	水・衛生管理委員会活動支援
474,478人	119,346人	2,899人

カンボジア

トイレと手洗い場を整備し衛生的に過ごせる学校生活を

カンボジアのバタンバン州をはじめとする4つの地域では、学校内に飲み水設備がある学校はわずか18.5%、手洗い場がある学校は39.7%に過ぎません。
グッドネーバーズは、学校の衛生環境を改善するために、トイレと手洗い設備の建設・改修を行い、ソーラー発電による給水施設を設置しました。また、構内の衛生クラブでも衛生教育を行い、クラブの生徒たちが様々な活動を通して学んだことを友人にシェアできるようにした結果、生徒たちの適切な手洗いなど衛生意識が向上しました。

カンボジア飲料水衛生支援事業の成果

- トイレの建設・改修 61校
- ソーラー発電給水施設の設置 45校
- 手洗い場の設置 87台
- 衛生教育を受けた生徒 1,927人

清潔な水で手洗い

長い間故障したトイレが直されず、家や遠くの森まで、用を足しに行っていたのですが、綺麗に直って学校のトイレに行くことができ、嬉しいです！

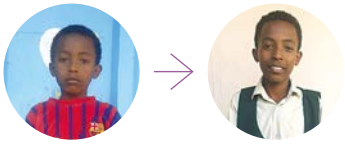
スレイヨン / ソクサン小学校の生徒

新しい手洗い場と石鹸のおかげで、手を頻繁に洗うことができ気持ちがいいです。これからも手をしっかり洗って、感染症に気を付けたいです。

ダ・スレイバー / ミル小学校の生徒

グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート②

2013 → 2020


身長：122cm
体重：24kg

157cm
44kg

クドゥス ヨセフくん　17歳（エチオピア）

クドゥスくんは、エチオピアの首都アディスアベバのリデタというスラム地域に住んでいます。今17歳で、中等教育課程校の10年生です。両親は離婚し、現在は母親、義父、生まれたばかりの妹と一緒に暮らしています。
学校で一番好きな教科は数学で、好きな動物はトラ、好きな色は黄色です。
グッドネーバーズは、エチオピアの子どもたちに教育の機会を提供するため学費や学用品の支援を行っています。また、教育へのアクセスを妨げる貧困の問題を解決するため、収入向上支援にも力を入れています。マイクロクレジットや工芸品製作により貯蓄ができるようになり、生活が改善しました。

※エチオピアの教育制度　小学校8年制、中等教育課程校4年制

収入向上支援

収入向上は生活の質の向上につながる

2020年の成果

収入向上支援
76,596世帯

協同組合支援
862の組合

社会的企業
12社

能力強化研修
30,949人

マラウイ

農業技術向上で収入を増やす

労働人口の約80%が農業及び農業関連事業に従事しているアフリカの農業国マラウイでは、洪水や干ばつ等気候による危機、不十分な生産基盤と技術、市場の不足などにより小規模農家の大半が貧困の問題を抱えています。
グッドネーバーズはマラウイの小規模農家の生産性をあげるため、カスング地域の農民450人が加盟する組合を作り、共同の農地を分配して環境保全型農業※の技術研修を行いました。
その結果、土壌の質が改善され、作物の品質も向上しました。また、収穫物を保存する保管庫を建て、効率よく販売することで、農家の所得の安定にも繋がりました。

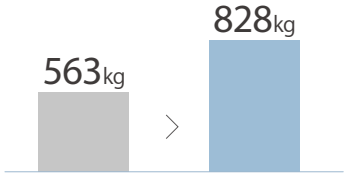
※ **環境保全型農業**：農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業（農林水産省）

マラウイ収入向上支援事業の成果

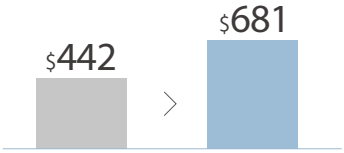
参加農民
450人

協同組合
3団体

農業技術の向上で収入を増やす



メイズ（トウモロコシ）の生産量
（1エーカーあたり）



世帯当たりの年間平均所得

グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート③

身長：129cm
体重：26kg

168cm
53kg

ジュリアンティちゃん　17歳（インドネシア）

ジュリアンティちゃんはスマトラ島北部のムラボ地域に両親、兄弟1人、姉妹2人と一緒に暮らしています。高校2年生で一番好きな教科は社会、好きな動物はニワトリ、好きな色は青です。放課後はテレビを見たり、両親の手伝いなどをして過ごしています。趣味はバドミントンで、将来の夢は教師になることです。
2004年のスマトラ島沖地震の際、ジュリアンティちゃんの住むムラボを津波が襲いました。その緊急支援活動をきっかけに、グッドネーバーズはインドネシアで貧困に苦しむ子どもたちが自立して、希望を持って生きることができるよう支援しています。

※インドネシアの教育制度　小学校6年制、中学校3年制、高等学校3年制

アドボカシー

女子教育のキャンペーンに参加する女子生徒（ウガンダ）

2020年の成果

啓発キャンペーンの参加者
544,867人

子どもの権利委員会の参加者
10,200人

出生登録をした子どもの数
21,095人

政策懇談会開催数
221回

政策提言書提出
38件

子どもの権利に関する法律や条例の改正
44件

アドボカシー：社会課題を解決するための政策提言や、キャンペーン等を通して知識を深め、行動に結びつけるための活動

ベトナム / ウガンダ

女の子の権利を守る児童婚防止事業

ベトナム
写真展・トークショー参加者
1,474人

ウガンダ
意見交換会の参加者
133人

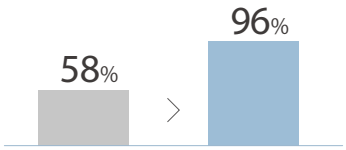
子どもクラブで児童婚がなぜ良くないことか学んだ後、私の同意なしに両親が決めた男性と結婚しないと決意し、グッドネーバーズの助けを借りて両親に私の意思を伝えることができました。学校に通い続けることは私の喜びですし、助けが必要な友人たちがいたら積極的に動こうと思います。

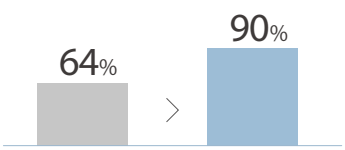
シン・ティン・リエン / ベトナム・イェンタウン中等学校の生徒

18歳未満での結婚、またはそれに相当する状態を指す児童婚は、特に女の子へ身体的・精神的に悪影響を及ぼし、教育を受ける権利や社会参加の機会を奪います。また、安定した収入を得て経済的に自立する可能性が大幅に減り、貧困が世代間で連鎖するリスクが高まります。

グッドネーバーズは児童婚から女の子を守るため、子どもたちに児童婚の概念と問題点、法的に婚姻可能な年齢、自分自身の権利を認識してもらうアドボカシーキャンペーンを様々な国で実施しています。
ベトナムでは児童婚防止の写真展とトークショーを、ウガンダでは自治体政府と意見交換会を開いて、児童婚に反対する声を直接あげました。その結果、両国の活動地域における児童婚防止に対する地域社会の認識が大幅に改善しました。

プロジェクト地域における児童婚問題の認識率の変化





児童婚防止の写真展に参加した子どもたち

国内事業

ちびっこおえかきコンテスト

2020年の成果

参加園
150園

集まった絵の数
3,278作品

参加園数・作品数が最高に

『親子でチャレンジ国際理解!ちびっこおえかきコンテスト』は、未来を担う子どもたちが世界にふれるきっかけを作ることを目的に、発展途上国の問題について映像教材を見て絵を描くことで、親子で国際理解を深め、楽しく学べる教育プログラムです。グッドネーバーズ・ジャパンが、公益財団法人ベネッセこども基金と共催で行っており、2020年で第八回目となりました。
今年は、150園から3,278枚もの作品が集まり、参加園数・作品数ともに過去最高となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により審査会をオンラインで実施するなど新たなチャレンジもありましたが、多くの温かい作品に感謝しながら無事開催することができました。

今回のコンテストではマラウイで暮らす女の子、バネッサちゃんを応援する絵を募集し、多くの作品の中から最優秀賞1作品、優秀賞2作品、審査員賞3作品、企業賞2作品、グッドネーバーズ賞1作品、ベネッセこども基金賞1作品、団体賞1園、佳作40作品が選出されました。
最優秀賞作品は、バネッサちゃんに沢山ごはんを食べてほしいという思いで、おいしくごはんを食べる様子を描いてくれた、あらい つばささんの作品です。お互いを知ることが協力の第一歩であることを改めて感じさせてくれる作品でした。上位10作品と入賞作品すべてが掲載された「入賞作品集」はバネッサちゃんのもとへ届けられました。

現在、バネッサちゃんはグッドネーバーズの支援を受けて、お姉ちゃんと一緒に学校に通うことができるようになりました。新型コロナウイルスによるロックダウンで学校が休校になったときもありましたが、その他の時は元気に登校し、お友達と楽しく勉強しています。また、グッドネーバーズはバネッサちゃん達が暮らす住居の建て替えや、お母さんが小さな食料品店を始めて経済的自立を目指すための支援も行いました。

最優秀賞の作品

最優秀作品を手に笑顔のバネッサちゃん

グッドごはん

2020年の成果

2020年の
延べ支援世帯数
4,547世帯

支援した子どもの
延べ人数
7,862人

子どもの「ちゃんと食べたい」のために

グッドネーバーズ・ジャパンは、国内の子どもの貧困問題への取り組みとして、フードバンク事業「グッドごはん」を行っています。
2020年は新型コロナウイルス感染拡大により、多くのひとり親家庭に深刻な影響が出ました。2020年5月に実施した「グッドごはん」利用者へのアンケートでは75%が収入が「減収」「減収見込み」と回答し、電話やメールで「助けてください」「親子でどうやって生きていけばいいかわからない」「給料日まであと5日、もう家に食べるものが無い」といった悲痛な声が寄せられました。2020年の利用登録は前年比で7倍に増え、経済的に脆弱なひとり親家庭に様々なしわ寄せがきている現状が伺えました。

3月　臨時配付
2020年3月2日からの全国的な臨時休校による家庭の食費の増加や就業時間の短縮による収入減などが予想されたため、当団体は3月中旬に臨時配付として483世帯に食品を配送しました。

4月　国内子どもスポンサー開始
4月からは「国内子どもスポンサー」として継続支援の受付を開始しました。グッドごはん事業を継続的な寄付で支えていただくことで、計画的な食品支援の運営が可能になっています。

7月　大阪にも配付拠点拡大
大阪のひとり親家庭は約70,000世帯と、東京の約67,000世帯を上回ります（H27国勢調査）。関西のひとり親の方々と子どもたちを支えるために、7月下旬から大阪でもグッドごはんを開始しました。

12月　年末募金
年末には、急増したニーズに対応するため、東京に倉庫を借りる必要があり募金を募りました。これにより、作業スペースが広くなり、より多くの食品を受け入れることができるようになりました。

グッドネーバーズ・ジャパンは、ひとり親家庭の子どもたちが心身ともに健康に成長できるよう、今後も支援者の皆様とともに活動を続けてまいります。

息子がお菓子やジュースに目を輝かせていました。なかなか、そこまで余裕がないので本当にありがとうございます。
息子の笑顔を見るとホッとします。バックを開けて一緒に棚にしまいながら会話する時間が楽しみです。本当にありがとうございます。

グッドごはん利用者より

2020年の人道支援

2020年の成果

緊急支援

21カ国

906,052人

洪水、噴火、寒波などで被災した地域に、食料や毛布、衛生用品などを支援しました

防災・減災支援

7カ国

24,047人

災害リスクが高い国で災害への備えを強化し、被害を最小化しました

難民支援

8カ国

157,430人

支援を必要とする難民の生計、住居などを支援し、経済的自立につなげました

復興支援

9カ国

34,069人

被災した地域の教育、保健などの社会基盤・生活基盤を再建し、日常生活の回復を支援しました

新型コロナウイルス緊急支援

活動実施国

38カ国

支援した子ども

1,828,645人

支援した地域住民

2,588,923人

グッドネーバーズは大規模な自然災害や紛争など、国際的な人道支援が必要とされる現場で、子どもたちと地域住民が一日も早く元の生活を取り戻せるよう支援しています。
2020年は特に新型コロナウイルス緊急支援として、世界中のグッドネーバーズの活動地域を中心に、現地自治体や地域コミュニティと連携した緊急支援システムを構築しました。各国において子ども達と地域住民の安全を最優先に、感染予防・啓発、自立支援を行いました。

© Good Neighbors

主な活動

感染対策キット

3,685,107個

新型コロナウイルス診断キットや衛生用品の支援

食糧キット支援

267,022個

子どもと地域住民を対象にした食糧キットの配付

心のケアとオンライン学習支援

631,112人

心理ケアおよび非対面教育プログラムの支援

感染予防教育支援

1,114,739人

子どもと地域住民を対象とした新型コロナウイルスとその予防に関する知識の提供

グッドネーバーズ・ジャパンの海外支援

【中国　新型コロナウイルス】

かけがえのない命を救うために

中国湖北省武漢市で2019年12月、新型コロナウイルスによる肺炎が報告されて以降、全世界でパンデミックが発生しました。
中国湖北省では2020年2月時点で患者を受け入れる病院だけでなく、医療従事者やマスク等の医療消耗品の不足が深刻さを増していました。
これを受けてグッドネーバーズ・ジャパンは中国への新型コロナウイルスに関する緊急支援を行うことを決定し、2月上旬のうちに医療用使い捨てガウン76,000着を調達し、現地の協力団体である湖北省慈善総会を通して中国湖北省の各地域の医療施設に届けました。

医療用ガウン76,000着の配付内訳

武漢市　15,000着（150箱）
襄陽市　8,600着（86箱）
黄石市　4,700着（47箱）
十堰市　6,800着（68箱）
荊州市　8,200着（82箱）
孝感市　20,000着（200箱）
黄岡市　8,400着（84箱）
咸寧市　4,300着（43箱）

【モザンビーク　サイクロン】

学校環境の整備と児童の栄養状態の改善

グッドネーバーズ・ジャパンは、2019年からモザンビークにてサイクロン・イダイ被災者支援事業を展開しています。
2020年1月には、ソファラ州ニャマタンダ郡における公立小学校4校での計10教室の再建プロジェクトが完了し、児童5,969人が安全な教室で学習できるようになりました。
しかし、同サイクロンの被害は著しく、新型コロナウイルス感染症流行の影響も加わり、子どもたちが安全で健康に学べる学習環境や勉学に励むために必要な栄養の提供が困難な状況が続いています。そこで引き続き、金光スタッフが駐在し、子どもが同感染症から身を守りながら安心して学ぶため、教室・トイレの再建、学校備品の提供、衛生啓発とトイレの維持管理研修を実施しました。また、彼らが適切な栄養を摂ることができるよう、食糧配付と栄養教育セミナーを行いました。

※これらの事業はジャパン・プラットフォームの助成によって実施されました。

【ネパール】

学校の水・衛生環境を改善

グッドネーバーズ・ジャパンは、ネパール南西部のバルディア郡にて、15の小中学校を対象とした水衛生環境改善事業を行いました。
本事業は2020年3月に在ネパール日本国大使館と当団体間で締結されましたが、その後の新型コロナウイルスの世界的な流行により活動が制限され、当団体スタッフの現地派遣も見合わせていました。しかし、渡航制限やネパール国内での行動制限が一部緩和された2020年12月に佐藤スタッフをネパールへ派遣し、本格的な支援活動を開始しました。
バルディア郡では、子どもたちが不衛生な水やトイレを使用することで、下痢などの水因性疾病に罹るケースが多発し、子どもたちに対する衛生教育が著しく不足しています。私たちは当事業終了後も、水衛生環境に課題を抱える他の地域で支援事業を実施し、水衛生状況改善への取り組みを継続していきます。

※これらの事業は外務省「日本NGO連携無償資金協力事業」です。

現地において、新型コロナウイルスの感染拡大は予断が許さない状況が続いています。そのような今だからこそ、一人ひとりの「衛生的な生活習慣」の知識と行動が強く求められています。
私たちは、現地の状況を注視しながら、事業活動を通じてより多くの人々に正しい衛生の知識と行動を伝えていくべく、活動を進めてまいります。

現地事業責任者の佐藤スタッフより

企業との連携

グッドネーバーズ・ジャパンは『子どもの笑顔にあふれ、誰もが人間らしく生きられる社会』を目指し、国内外で支援活動に励んでいます。しかしこのビジョンは、私達だけの力では実現できません。賛同し、力を貸してくださるパートナーの存在が不可欠です。とりわけ企業の力は、私たちの活動の様々な場面で必要とされています。
2020年も、企業の皆さまから、子どもスポンサーシップ、グッドごはんへの食品および資金提供、社員募金と企業のマッチング寄付、ボランティアへの協力、そして新型コロナウイルス緊急支援活動へのご協力など、様々な支援・協力をいただきました。その一部をご紹介します。

日本アルコン株式会社

アイケアに特化した医療機器メーカー様で、有志の社員の方々がグッドごはんに食品を寄付してくださいました。温かいメッセージを添えて、段ボール50箱分、340セットもの食品セットを作ってくださいました。

株式会社エスエーティー

アパレルや雑貨などの輸入販売事業の売り上げの一部を海外子どもスポンサーとしてご寄付くださっています。ご支援いただいているチャドの子どもの成長を毎年楽しみに、温かく見守ってくださっています。

株式会社オンデーズ

「ひとり親支援プロジェクト」の一環として、グッドごはんの利用者であるひとり親家庭の子どもを対象にメガネを無償で提供する支援活動を実施してくださっています。

株式会社クラダシ

フードロス削減に賛同するメーカーから協賛価格で提供された商品を販売し、その売り上げの一部を、グッドネーバーズ・ジャパンを含む様々な社会貢献活動団体へ寄付されています。

サントリーホールディングス株式会社

約200名の社員様がご家庭や部署で食品を集め、およそ360kgの食材を寄付してくださいました。一枚一枚丁寧にメッセージをつけていただき、励ましの声を届けることができました。

ダイナメディックジャパン株式会社

海外子どもスポンサー・みんなの成長を見守るコースでご支援くださっています。企業の社会的な使命として、「子供」「医療」「地球」というキーワードに対し慈善活動をされています。

ご支援・ご協力をいただいた企業（一部　順不同敬称略）

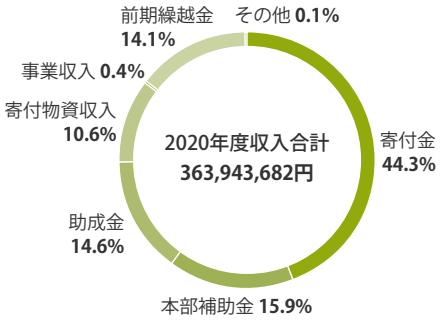
セカンドハーベスト・ジャパン
ヤフー株式会社 Yahoo!ネット募金
株式会社タイトー
アルファー食品株式会社
シングル10株式会社
J.P.モルガン
The American Chamber of Commerce in Japan
日清食品ホールディングス株式会社
味の素株式会社
アカマイ・テクノロジーズ合同会社
ブックオフコーポレーション株式会社
ハチ食品株式会社
カルビー株式会社
生活協同組合おおさかパルコープ
ファクトセット・パシフィック
株式会社資生堂
株式会社陽銘
ダノンジャパン株式会社
システムエグゼ株式会社
有限会社八と二
株式会社デュアル・セアリー
アステラス製薬株式会社
株式会社クラダシ
株式会社パソナグループ
TMコミュニケーションサービス株式会社
ラーニング・マスターズ株式会社
株式会社 岳建築設計事務所
カンバーランド長老キリスト教会 中会女性会

会計報告

2020年度収支計算書(2020年1月1日～12月31日)

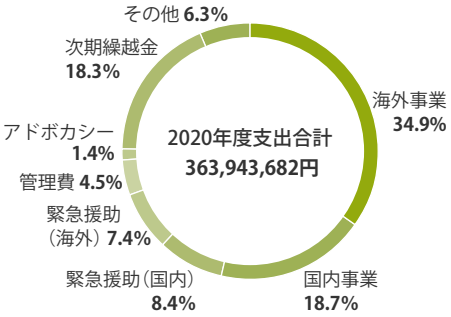
Ⅰ 経常収入の部		（単位：円）
寄付金収入		199,722,304
助成金等収入		111,244,585
助成金収入	53,262,793	
グッドネーバーズ本部補助金収入	57,981,792	
事業収入		1,368,360
その他収入		185,545
経常収入合計		312,520,794

Ⅱ その他資金収入の部		
計上外収益（為替差益・雑収入）		36
前期繰越金		51,422,852
収入合計		363,943,682



支出の部

Ⅲ 経常支出の部			
1 事業費			
(1) 開発途上国等の子ども達並びにその家族および地域社会のための地域開発支援事業		海外 国内	38,776,208 45,853,509
(2) 開発途上国等における、大規模自然災害または紛争等の発生時における緊急人道支援および復興支援		海外 国内	26,974,511 30,518,862
(3) 地域開発支援事業への支援者と、開発途上国の子ども達ならびにその家族および地域社会との間の相互理解促進			14,578,830
(4) 国際協力に対する日本の人々の理解を深める啓発事業			5,253,555
(5) 国際協力に参加する機会を広く日本の人々に提供する普及活動			94,982,072
寄附された物品を含む物品の販売事業			700,746
ホームページ・会報等への広告掲載事業			0
事業費合計			257,638,293
2 管理費			16,467,769
経常支出合計			274,106,062



Ⅳ その他資金支出の部	
法人税、住民税および事業税	70,045
計上外費用（為替差損）	9,234
前期損益修正損	23,021,228
次期繰越金	66,737,113
支出合計	363,943,682
当期収支差額	0

貸借対照表(2019年12月31日現在)　（単位：円）

Ⅰ 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	32,814,179	
未収金	31,433,657	
商品	1,984,455	
貯蔵品	376,858	
寄付物資	382,463	
仮払金	325,781	
支援等事業特定資産	137,538,694	
流動資産合計		204,856,087
2 固定資産		
退職引当特定資産	16,000,000	
敷金	2,003,500	
固定資産合計		18,003,500
資産合計		222,859,587

Ⅱ 負債の部		
1 流動負債		
未払金	15,529,243	
預り金	1,984,537	
前受金	122,538,694	
未払法人税等	70,000	
流動負債合計		140,122,474
2 固定負債		
固定負債合計		16,000,000
負債合計		156,122,474

Ⅲ 正味財産の部		
前期繰越正味財産	51,422,852	
当期正味財産増減額	15,314,261	
正味財産合計		66,737,113
負債及び正味財産合計		222,859,587

監査報告書

これは、JANICの「アカウンタビリティセルフチェック2012」マークです。JANICのアカウンタビリティ基準の4分野（組織運営・事業実施・会計・情報公開）について当団体が適切に自己審査したことを示しています。

役員

代表理事：　福井　玲（東京大学教授）
副代表理事：韓　福相（大阪産業大学教授）
常務理事：　小泉　智（グッドネーバーズ・ジャパン事務局長）
理事：　松本　吉広（黒光商事株式会社代表取締役）
　　崔　玟鎬（グッドネーバーズGPC事務局長）
監事：　姜　恩和（目白大学准教授）
法務顧問：　金子　憲康（弁護士）
財務顧問：　さくら会計事務所
労務顧問：　浅井　浩次（特定社会保険労務士）

© 굿네이버스 / Good Neighbors

VISION

子どもの笑顔にあふれ、誰もが人間らしく生きられる社会

MISSION

国内外のパートナーと共に、
貧困および差別の原因や災害・紛争による脅威を取り除く

認定NPO法人　グッドネーバーズ・ジャパン

〒144-0051 東京都大田区西蒲田7-60-1 ソメノビル7階

TEL：03-6423-1768　FAX：03-6423-1766　E-mail：admin@gnjp.org

HP : www.gnjp.org　Twitter : @GNJapan　Facebook : gnjapan　Instagram : gn_japan